

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日更新

事務事業名		合志市地域公共交通計画実施事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	政策部	課長名	大茂 竜二
	施策	4	公共交通の充実			所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟
	施策の柱	12	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目	会計一般	款2	項1	目11	事業連番11465	根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法	成果優先度評価結果	②
								コスト削減優先度評価結果	④
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した、合志市地域公共交通計画に定めるさまざまな実証実験を、平成21年度から平成23年度までの3カ年間に亘り国の補助(1/2)を受けて実施してきた。 実証実験の結果、平成24年度から、レターバス、循環バス(2路線)、乗り合いタクシー(3路線)および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。 平成27年度は、レターバスの遅延解消に向けた取組みとしてダイヤ改正を行った。また、循環バス須屋線をレターバスとの接続させ、光の森方面へのアクセスを強化する目的としてダイヤ改正を行った。 また、辻久保駐輪場改築を行い利便性の向上を図った。
【業務の流れ】	コミュニティバス運行業務および総合支援委託業務の契約事務、コミュニティバスや乗り合いタクシーの再編及び利用促進策などの審議。利用促進策としてガイドマップの作成配布及び各地区への出前講座等による説明。コミュニティバス運行進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)や実績に基づく運行委託料支払事務
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】	・合志市における地域公共交通ランドビジョンの必要性や、市財政状況を踏まえ、どこまで市が経費を負担して地域公共交通を維持するのか、運行に関する収支率や運賃改定について市議会や地域公共交通協議会から意見をいただいている。 ・須屋地区へのレターバス乗り入れを求める要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	・利用促進を図るためレターバスと循環バス須屋線のダイヤ改正を実施した。 ・委託料削減のため、料金値上げを実施した。 ・合志市地域公共交通網形成計画を策定した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・コミュニティバスガイドブックの作成及び料金改定に伴う回数券の作成する。 ・西合志庁舎～合志庁舎間のバス路線の検討及び実証実験に向けた準備の実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)本 →イ コミュニティバス路線の路線数	予算の主な増減の理由 辻久保駐輪場改修等の工事請負費、地域公共交通調査事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人 →イ 市の人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑に移動できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)% →イ 「公共交通機関を利用している割合」(市民アンケート調査)
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
市民アンケート調査の「公共交通機関を利用している割合」		87,091

(2)各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	本	9	9	9	9	9	9	9	9
②対象指標	人	58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
③成果指標	%	66.2	69.7	69	65.6	69.5	70	70.5	71
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	4,062	3,875	3,000	4,761	3,800	3,800	3,800
	地方債	千円							
	その他	千円	6,378	5,326	9,261	5,062	3,874	3,874	3,874
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	36,087	40,942	45,772	51,939	44,578	44,578	44,578
	(A)事業費計	千円	46,527	50,143	58,033	61,762	52,252	52,252	52,252
	(A)のうち指定経費	千円	11	19	15	2	13	13	13
	(A)のうち時間外、特勤	千円	11	19	15	2	13	13	13
	正規職員従事人数	人	4	3	6	4	6	6	6
延べ業務時間	時間	1,394	550	1,200	918	1,200	1,200	1,200	
(B)人件費計	千円	5,553	2,191	4,780	3,408	4,780	4,780	4,780	
トータルコスト(A)+(B)	千円	52,080	52,334	62,813	65,170	57,032	57,032	57,032	

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ・利用促進を図るためレターバスと循環バス須屋線のダイヤ改正を実施した。 ・委託料削減のため、料金値上げを実施した。 ・合志市地域公共交通網形成計画を策定した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 コミュニティバスの利用促進策の取り組みを検討・実施し、利便性を向上させることにより目標達成が見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度からは本格運行としレターバスにおいては当面は現状の運行形態で運行するとされているものの、今後もルート変更及増便等の利便性向上のための取り組みを行うことにより成果の向上を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民間事業者が運行しない区域を運行しているものであり、公共交通空白地域をカバーする事業主体は、現時点では市が実施する以外ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・運賃収入 (運賃値上げ) やその他の広告収入の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。 ・利用促進策の効果等により利用者が増加すれば、運賃収入の増になり運行委託料が削減される。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 限られた業務時間 (人件費) を有効に利用できるように、他の事務事業の効率化を図り、公共交通の充実に直結する本事務事業に業務時間を重点的に配分している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としているため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 民間バス事業者が運行しない区域において地域公共交通を維持する者は、行政以外にはいない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

地域公共交通計画で予定していた実証実験は、平成23年度までの本事務事業においてすべて実施した。平成24年度からは本格運行とはするものの、利用定着のため平成25年度は現在の交通体系の運行を行い、利用促進の取り組みを行なうこととした。
 なお、平成25年度にコミュニティバスの運行指針を策定し、今後のコミュニティバスの安定した運行を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 公共交通機関の利用促進策の取り組みの検討・実施	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						